



静岡徳洲会病院 地域医療連携だより

秋号
Vol. 22

新任医師紹介

リハビリテーション 専門医 が 着任 しました

リハビリテーション科 部長

大竹 弘哲 医師



7月1日に入職致しました、リハビリ専門医の大竹弘哲（ひろあき）と申します。私自身が、Charcot-Marie-Tooth病の遺伝子異常を持つ四肢末梢の障害者です。地元の群馬大学を卒業し、新潟で研修して神経内科専門医と医学博士を取りました。冬季に転倒することが多く、手指の巧緻性も悪化し救急などの現場で手技が困難になり、地元群馬に戻り回復期リハビリ病棟で働き始めたのは20年以上前になります。

回復期の経験を積んだ後はドクターヘリの基地病院で、ICUの超急性期離床や重症熱傷、上下肢切断、脊髄損傷、口唇口蓋裂の小児の診療などに携わりました。その後長野県の相澤病院では幅広い病期の患者さんを診させて頂き、外来で介護保険のリハビリサービスと連携する機会を多く持てました。

自動車運転再開支援や嚥下障害の研究会、群馬県の脳卒中地域連携パスのデータ解析、被災地のリハビリのJRATなどの院外活動では、他病院の意欲的なPT、OTやSTさんから刺激を貰いつつ、楽しく働いております。

当院では回復期リハビリ病棟を中心に診療を始めております。脳卒中のリハビリに特に力を入れて参ります。また脳神経内科医として院内紹介の患者さんも、非常勤の先生方と相談しながら診ています。最後に、本年中にロボットスーツHAL(Hybrid Assist Limb)®を導入する予定です。リハビリ専門医の経験を生かして歩容指導をPTさんと進め、神経難病の患者さんの活動を広げたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

回復期リハビリテーション病棟では、患者さんの状態に合わせ、多職種で連携しながら、退院後の生活を見据えた支援を行っています。是非回復期リハビリテーション病棟のホームページもご覧ください。

<https://shizutokukaifuku.com>



～口から食べるための研修会～

しずとく すべての人に口から食べるしあわせを 口から食べる プロジェクト

活動報告

NPO法人「口から食べる幸せを守る会」
理事長小山珠美先生による
セミナーを開催しました



当院では、「しずとく口から食べるプロジェクト」として、院長を筆頭にミールラウンドなどの活動を行っています。その一貫として8月23日(日)、第142回KTSM静岡実技セミナーを当院主催で開催しました。3年前は院内研修として当院職員を対象に開催しましたが、今回は一般の方も含めた外部からの受講者を加え、院内と合わせて36名の受講者を迎え実施することができました。

「NPO法人口から食べる幸せを守る会」理事長の小山珠美先生をはじめ、KTSM実技認定者の皆様を講師に迎え、講義、ハンズオン、ベッド・車いすでの食事介助技術を主に行いました。食事介助技術に関しては、それぞれのグループに分かれポジショニング、スプーン操作など細かく指導していただき、困難事例については、拘縮のある患者さんのポジショニング、開口困難な患者さんの介助の仕方などについてもご指導いただきました。

実施後のアンケートでは、「患者体験することで患者の立場が理解できた」、「医療者側の技術ひとつで食べやすさなどが変わるのが理解できた」、「食事介助の技術や知識を学ぶ機会がなかったため参考になった」など、たくさんのご意見をいただきました。

11月8日(日)にも2回目の実技セミナーを実施します。今回の反省点を踏まえ、より良い実技セミナーが実施できるよう努力していききたいと思います。

ベッド上・車椅子上の食事介助



病診連携室

より

地域の先生方、医療機関の皆さまには、日頃より当院との連携にご協力いただきありがとうございます。

当院では、患者様に安心して医療を受けていただけるよう、院内の様々な職種が力を合わせ、それぞれの専門性を活かしながら日々の業務に取り組んでいます。

病診連携室としても院内・地域との繋がりを大切に、より良い連携を目指して参ります。
今後ともよろしくお願いいたします。

お問い合わせ窓口

受診や入院のご相談など

お気軽にお問い合わせください！

病院ホームページはこちら！

静岡徳洲会病院 病診連携室

〒421-0193 静岡県静岡市駿河区下川原南11番1号

TEL: 054-256-8157 (直通) FAX: 054-256-8163

